

重症化リスクの低い患者における蜂窩織炎初期治療

—初期治療失敗例の検証—

北区・済生会兵庫県病院 竹村 敏也（薬剤師）

市中感染蜂窩織炎の治療において、適切な初期治療が行われていないと思われる症例に少なからず遭遇する。この場を借りて自験使用例を紹介し、適切な蜂窩織炎の初期治療について皆様と考えたい。

症例は、36歳の中肉中背の女性、左足背の蜂窩織炎で近隣のクリニックにおいてメロペネム 0.5g 点滴とトスフロキサシン 150mg 2錠分2の処方を受けていた。その後3日たっても改善せず、やや悪化傾向のため患者自身の判断で当院を受診した。当院では、特別な治療は行わず、標準治療を行うこと3日で症状改善が得られた。

クリニックでの初期治療と当院での治療を比較し、市中発症の蜂窩織炎治療についてディスカッションできればと思っています。